

ストレンナ2021
希望につき動かされて
Moved by hope

「見よ、わたしは万物を新しくする」(黙示録21章5節)

誰もが無視できない現実

- 新型コロナウイルス感染症の世界的流行
その一方で、
- 別の感染症流行が起きている！
 - ・戦争、テロ、虐待、人身売買、奴隷化、
犯罪、性的搾取、子ども兵士

STRENNA = (新年やクリスマスの)贈り物

- サレジオ家族の中では、
「年間目標」や「努力目標」という意味

これからどんなことが待ち受けているのだろうか？

わたしたちは、サレジオ家族として、旅を続けなければならない。

そういうわけで、今年のスレンナは、

「希望につき動かされて」に決められた。

では、希望とは？

希望とは血液のようなもの

- 人は、希望するように招かれている
- 希望のない人生は無意味
- 希望は、単なる欲求ではない。
- 希望は、良い結果を予測する楽観主義でもない

- 希望は、人間の予測を超えた、全く新しい何かを求めること。

悲惨な現実の中で愛に生きる

- 非人道的な世界の現実に対して、二つの態度をとることができる
 - 1. 不平不満、否定的、消極的な態度
 - 2. 希望をもって、最善を尽くし、愛と奉仕に生きる

信仰者としての解釈→神の存在

- 苦しい現実の中にあっても神の存在を信じている
神がともにおられ、深い憐れみをもって、わたしたちを導き、
歴史の中で働いておられる。
沈黙のうちに、私たちの近くにおられる。
「万物を新しくする」(黙示録21章5節)
歴史は、神によって完成される時が来る。
神の偉大な計画が、キリストによって完成される。
そのときには、すべてのものが新しくされる。

信頼できる希望←神による保証

- 神を信じているのとそうでないとは全くちがう。
- キリスト教的な希望は、人間的な期待ではなく、神の約束に基づくもの
- 信仰によって、人生の砂漠の中でも道を示してくださる神に信頼する。
- すべてを實現してくださる神に信頼するようにわたしたちを突き動かす希望である。

試練の時は選択の時

- あなたは、秋の人ですか、それとも春の人ですか？
- イエス・キリストを通して神に出会った人は、春の人である。

サレジオ家族における証人

- ドン・ボスコの生涯において

神と聖母マリアに対する信頼

神の摂理(御計画)に対する確信

彼とともに希望の種をまいた人たちの存在

コレラの流行のときのこと

その他の希望の証人たち

- 福者ステファン・サンドル (1914–1953)
- 福者マダレーナ・モラーノ修道女 (1847–1908)
- 神のしもべ チャールズ・ブラガ (1889–1971)
- 福者ヨセフ・コワルスキー (1911–1942)
- 神のしもべ アントニオ・バリエリ (1951-2007)

今の時のサレジオ的解釈

- いつですか？ → ()
- 今回の経験からわたしたちが教訓を学んでいかなければならない
- そのために、価値観や人生観を変えなければならない。

閉ざされた状態から、開かれた姿勢へ

- コロナ禍の中で、隔離された状態で、感染を恐れ、閉じこもった状態にあったわたしたちは、こんなときにこそ、心を開くことを求められている。

個人主義から連帯と交わりへ

- 個人主義というウイルス
- 私たちは、ひとりでは生きていけないことを体験した
- 自己中心から連帯と交わりへ
- 弱者に奉仕する
- 多くの人が私たちの笑顔、言葉、ともにいてくれることを待っている

孤立から真の出会いへ

- 孤立することのほうが楽であり、危険をさけることができる
しかし、本来、人間は出会いと交わりに生きることが必要なのだ。
孤立ではなく、交わりへ
文化のぶつかり合いではなく、出会いの文化へ

分断から一致と交わりへ

- 皮肉にもウイルスが私たちが互いに分断させたのだが、同時にウイルスがわたしたちがひとつになることを促したのも事実である。
- 神の子として、皆が同じ船に乗って進み、分断という病から一致と交わりという健康な状態になるように、希望の福音という薬がある

落胆、空しさ、意味の欠如から超越へ

- 映画「Life is beautiful」(1997)に出てくる父親は、強制収容所にいる間に息子にこれはゲームなんだと言って楽しく過ごそうとしていた。そのゲームは彼の救いだった。
- この時を通して、神はわたしたちに何を語ろうとしているのか。
- わたしたちのうわべだけの見せかけははがれ、わたしたちは、互いに兄弟姉妹であり、お互いはお互いの部分であることを知るようになる。

誰も一人では救われない

- 私たちは、同じ船に乗っているグローバルな共同体
- わたしたちは、互いに兄弟姉妹である

存在があかしになる

- 若者たちは、わたしたちがともにいてくれることを望んでいる。
- 若者たちの人生によって、わたしたちも生きる。
- 若者たちに耳を傾け、神について語るように。

希望をあかすサレジオ家族

- 希望に生きるサレジオ家族として、
ストレンナを実行していくための提案

1. 「信仰と希望はともに進みます。」ということを見直しましょう。

- 取り組み：

ドン・ボスコにならない、若者たちに人生を祝祭として、信仰をシェアとして生きるように活気づけるにしましょう。

2. 祈りは希望の学び舎

- 取り組み

若者たちとその家族とともに祈りながら、
よりよく祈ることを学び、さらに良く祈ることによって
希望を培いましょう。

3. 日常生活の労苦とともに生きることによって成長していきましょう。

- 取り組み

神が与えてくださる恵みを見出すように若者とその家族や人々を助けるようにしましょう。不平を言わずに彼らを活気づけ、単調さや生ぬるさを取り去るような目標を示しましょう。

4. 困難と失意のときに希望に生きましょう

- 約束

私たち自身が、神によって教育されるように、お任せしましょう。
特に闇のうちにある時に神に信頼しましょう。

5. 希望とは、貧しく、排除された人々の ところに帰ることを決断すること

- 取り組み

私たちの家族においてドン・ボスコとともに主なる神に忠実であるためには、何にもまして、最も貧しく、見捨てられ、疎外された人々を優先的に選ぶ道を選ばなければならない。

6. 他者の痛みの中に自分がいることを知る

- 取り組み

今日、サレジオ家族の父ドン・ボスコに忠実であるということは、すすんで、あらゆる不正義に苦しむ人々の側に立つことを意味する。

7. 希望に向かって回心することは、福音の計画を信じること

- 取り組み

このような理由で、ドン・ボスコのサレジオ家族として、わたしたちは希望の理由であるイエス・キリストの神と福音を示さないわけにはいかない。

8. サレジオ家族としての具体的な取り組み

- 教皇フランシスコの使徒的勧告「Fratelli Tutti（兄弟姉妹である皆さん）」を配布し、個人的に、家族で、グループで、読むようにしましょう。

9. このストレンナの实りとして真実が探求されるべきである

- すべてのことは、私たちの手の中にあるのではなく、神の手の中にある。
- 先行き不透明なときに、神にすべてを委ねていきるように、神の導きに信頼しなければならない。

希望の星、神の母、ナザレのマリア

- あなたが、「はい」と神に答えたことで、人類が希望に目覚めることができた
- あなたは子を産んだときに、無力さと孤独を体験された。
- あなたの心は、剣で貫かれると言われ、あなたの子が反対のしるしとなり、誤解され、拒絶されるのを見たときに、あなたは苦しんだ。
- あなたの子に対する敵意と拒絶は、ゴルゴタの丘の上の十字架のもとに立つまで続いた。
- 希望は死なないとあなたはわかっていた。だから、母としてあなたは、弟子たちとそこに残ったのだ。「婦人よ、あなたの子です。」希望の母として

「聖マリアよ、
わたしたちの母、神の母よ
あなたとともに
信じること、希望すること、愛することを教えてください。
神の国への道を示してください。
海の星よ、わたしたちの道を照らし、
導いてください。
アーメン。」